

カメラ機能拡張BOX

BSG17

取付説明書

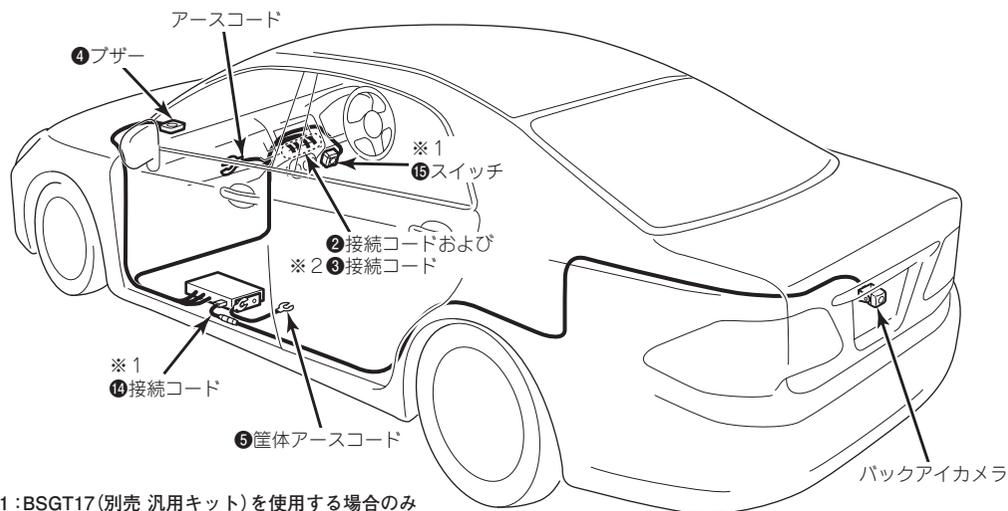
お客さまへのお願い

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

一販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しいただき、

取付概要図



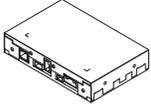
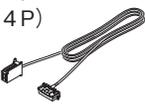
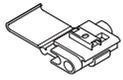
※ 1: BSG17(別売 汎用キット)を使用する場合のみ
 ※ 2: 他社のカーナビゲーションに接続する場合は、13接続コードを使用します。



構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

BSG17

① 本体  ×1	② 接続コード (8P)  ×1	③ 接続コード (8P-4P)  ×1
④ ブザー  ×1	⑤ 筐体アースコード  ×1	⑥ 取付ブラケット  ×2
⑦ プチルテープ  ×2	⑧ 六角ボルト (M5×8)  ×4	⑨ バンドクランプ  ×4
⑩ ハーネス固定テープ  ×2	⑪ 保護シート  ×2	⑫ ショートコネクタ  ×3

※ その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類)

BSGT17 (別売 汎用キット)

⑬ 接続コード (8P-RCAオス)  ×1	⑭ 接続コード (4P-RCAメス)  ×1	⑮ スイッチ  ×1
⑯ バンドクランプ  ×4	⑰ ハーネス固定テープ  ×1	

作業の進め方

- 1) 構成部品の確認 (☞構成部品)
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞接続のしかた)
- 4) 接続コードを配線する
- 5) ブザーを取り付ける (☞ブザーの取り付けについて)
- 6) スイッチを取り付ける (☞スイッチの取り付けについて)
- 7) 本体を取り付ける (☞本体の取り付けについて)
- 8) バッテリーの⊖端子を元に戻す
- 9) 初期設定を行う (☞別冊「取扱説明書」)

安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

⊘ : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

- ❗ **本機は DC12V ⊖アース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様ディーゼル車などの24V車での使用はできません。24Vで使用すると火災の原因となります。
- ❗ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処理を施して下さい。火災や感電の原因となります。
- ⊘ **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖端子をはずしてください。**
プラス ⊕とマイナス ⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- ⊘ **本機を次のような場所には取り付けしないでください。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめて固定してください。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- ⊘ **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ **取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認してください。**
正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。
- ❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- ❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**
ショートにより火災や感電、故障の原因となります。
- ❗ **カメラ取り付けネジはときどき点検し、ゆるみがある場合は、増し締めをしてください。**
次のような思わぬ事故の原因になります。
・外れて落下し、歩行者等に接触する。
・取り付け角度が変わり、機能が正常に動作しない。
- ⊘ **カメラコードに傷をつけないでください。**
傷の部分からカメラ内部に湿気や水分が浸入し火災や感電、故障の原因となります。
- ⊘ **カーナビゲーションの画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。**
必ず目視による安全確認をしながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
- ⊘ **本機を分解したり、改造しないでください。**
事故、火災、感電の原因となります。
- ⊘ **機器内部に水や異物を入れないでください。**
発煙や発火、感電の原因となります。
- ⊘ **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
- ❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがあるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
そのまま使用すると思わぬ事故や火災、感電の原因となります。
- ⊘ **ビニール袋をかぶらないでください。**
大きな事故や窒息死の原因となります。
- ❗ **必ず付属の部品を指定通り使用してください。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあります。
- ❗ **取付説明書で指定された通りに接続してください。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となります。
- ⊘ **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起したり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- ❗ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となります。
- ❗ **他社のカーナビゲーションと本機を組み合わせる場合は、他社接続機器メーカーが指示している警告・注意事項等を厳守してください。**
正常に動作しなかったり、事故の原因となります。

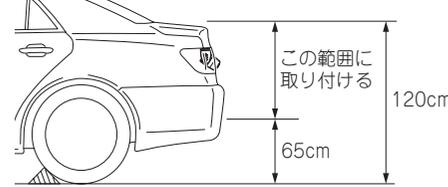
注意

- ❗ **本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ⊘ **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**
両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れやワックスを綺麗に拭き取ってください。きれいに拭き取らないと、走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線してください。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ⊘ **コード類を決して途中で切断しないでください。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- ⊘ **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**
車の振動や熱でコードの被覆が破れ、ショートして火災や感電の原因となることがあります。
- ⊘ **雨が吹きこむところや、水のかかる場所など湿気、埃、油煙の多いところへ取り付けしないで下さい。**
本機に水や結露（エアコンホース周囲など）、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ⊘ **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。**
本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- ⊘ **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- ❗ **万一、この機器を落としたり破損した場合は、機器本体の電源コードを抜き、販売店にご連絡ください。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ⚠ **コード類を配線するときには、車両側部品とのかみ込みに注意してください。**
断線やショートにより事故や感電・火災の原因となることがあります。
- ⊘ **バックアイカメラを水に浸したり、自動洗車機（高水圧）による洗車は避けてください。**
バックアイカメラ内部に水が入ったり、また、バックアイカメラが脱落して思わぬ事故の原因となることがあります。
- ⚠ **バックアイカメラの映像は、バックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により、見え方が異なります。十分にご注意ください。**

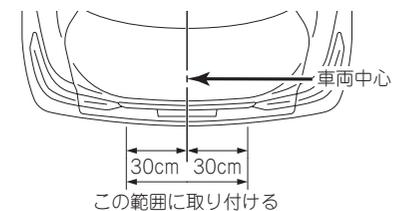
バックアイカメラ取り付け条件について

条件1:カメラの取付位置について

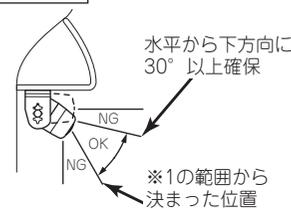
●65cm～120cmの高さに取り付けてください。



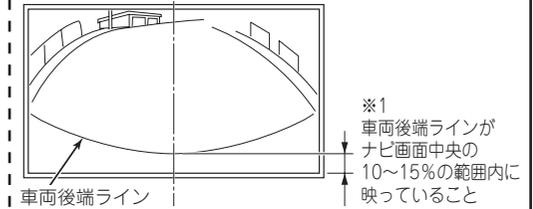
●車両中心から左右に30cm以内の範囲で取り付けてください。



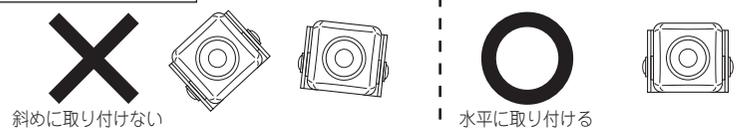
条件2:カメラ角度について



カーナビゲーション画面中央



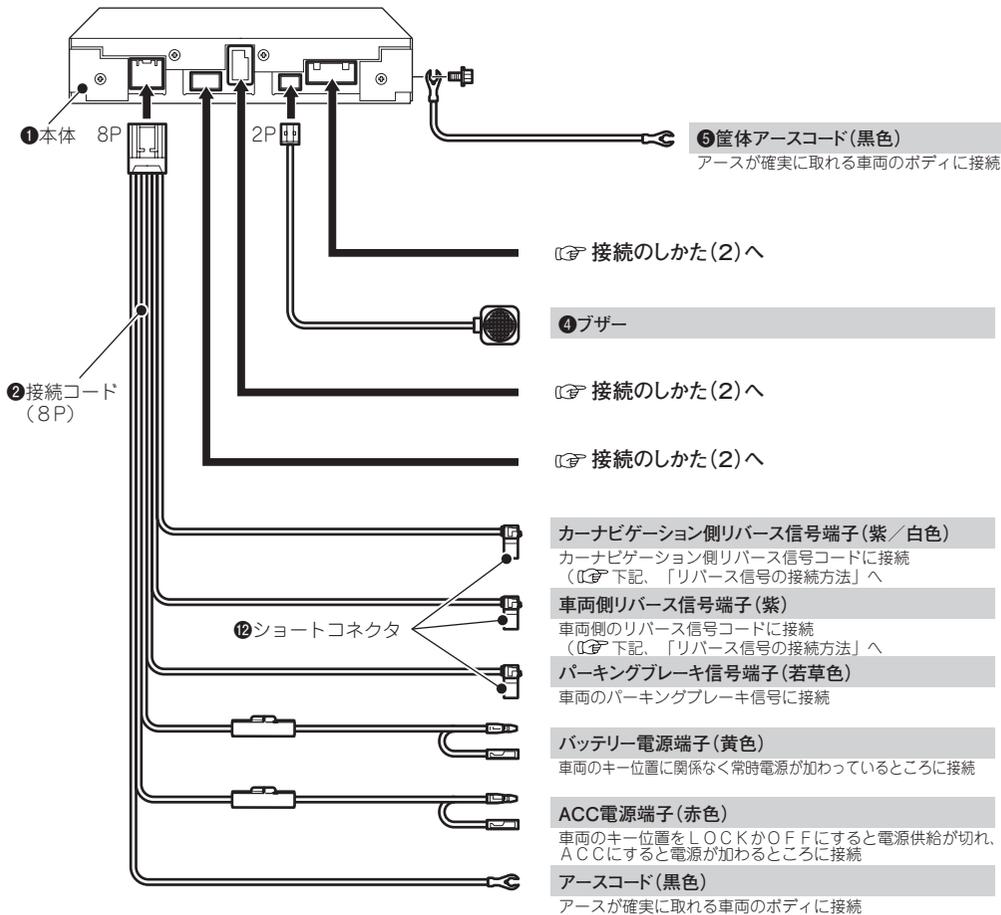
条件3:カメラの傾きについて



注意

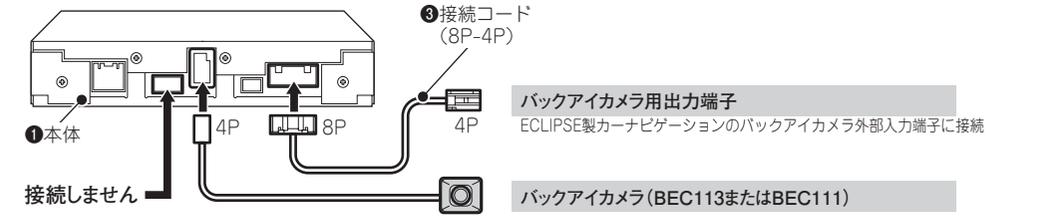
- 上記の条件を満たせない場合は、保安基準に適合する範囲内で、バックアイカメラの取付位置を移動させてください。
- カメラの取付状態が上記1～3の条件を満たさない場合、下記のような現象が頻繁に発生するおそれがあります。
*障害物が検知されない、あるいは誤って検知される。
*進行方向予測線が表示されない、あるいは誤って表示される。
*バックアイカメラの映像が正しく表示されない。

● 接続のしかた(1)

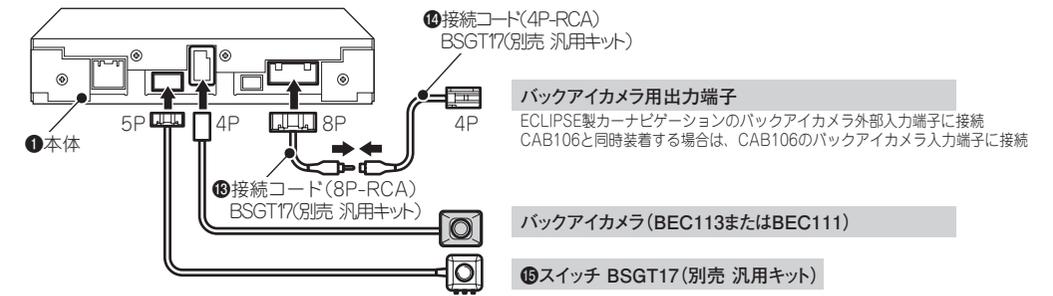


● 接続のしかた(2)

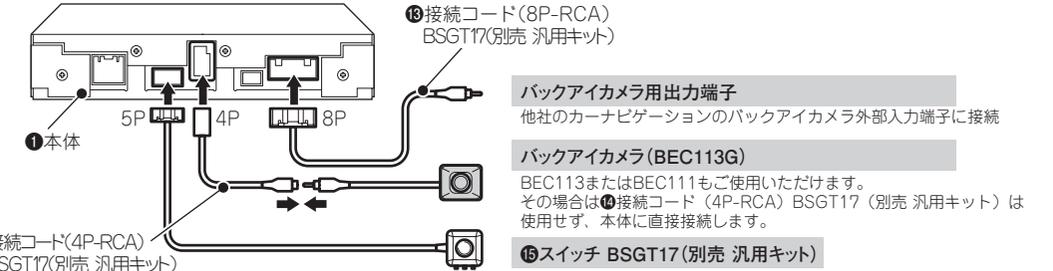
ECLIPSE製カーナビゲーションと接続する場合 (別売 BSGT17を使用しない場合※)



ECLIPSE製カーナビゲーションと接続する場合 (別売 BSGT17を使用する場合※)



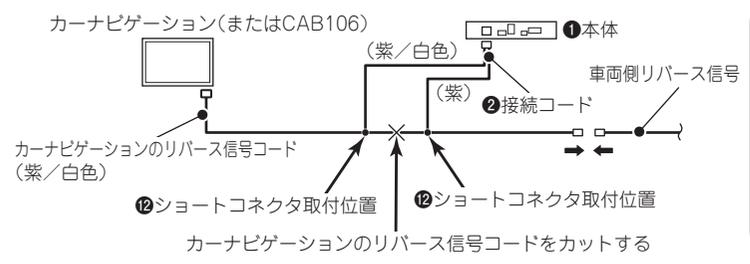
他社のカーナビゲーション等に接続する場合



※ 接続するカーナビゲーションによっては、別売の汎用キットBSGT17が必要になる場合があります。
 適合情報についてはECLIPSE Webサイトのお客様サポート内「オプション品適合情報」
 (<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/conform/>)をご確認ください。

リバース信号の接続方法

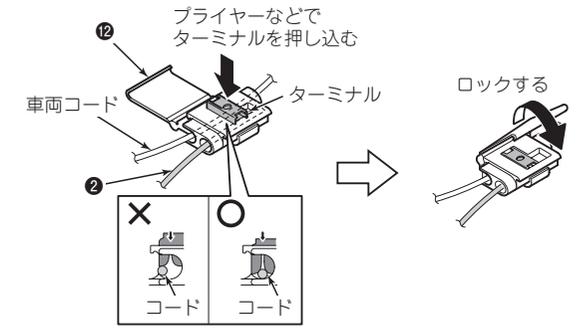
・カーナビゲーションのリバース信号をカットし、本製品に同梱の⑫ショートコネクタを使用してカーナビゲーションのリバース信号コードおよび車両側のリバース信号コードに接続してください。



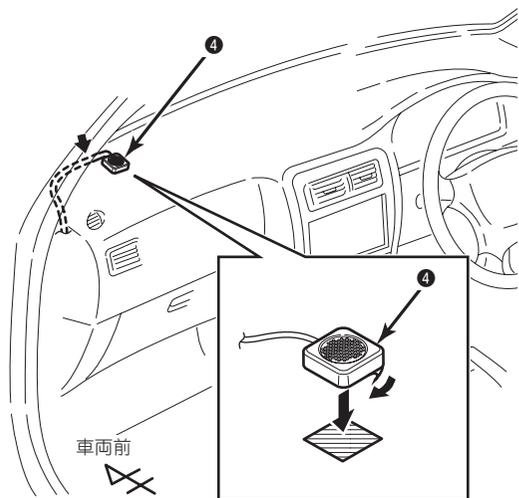
アドバイス

- ・2DINワイドサイズのカーナビゲーション (商品型名の末尾が「W」の場合、車両信号端子 (5P) の「紫/白色」の配線がリバース信号コードです。
- ・CAB106と同時装着する場合は、CAB106から見て、車両側のリバース信号コードをカットして接続してください。
- ・トヨタ車に9型大画面カーナビゲーションを取り付ける場合など、車両コネクタをカーナビゲーション背面に直接接続する場合は、車両ハーネスのリバース信号コードをカットして接続してください。

ショートコネクタの使用方法



● ブザーの取り付けについて

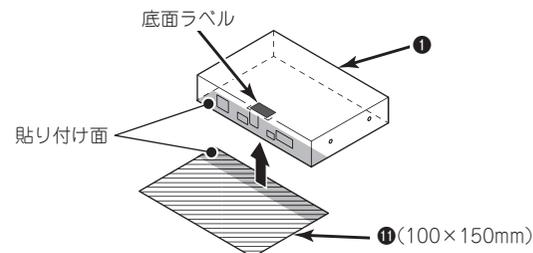


- ① ブザーの両面テープのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードの平らな面に取り付ける。
- ③ ブザーコードをテープ等で固定しながら本体取付位置まで配線する。

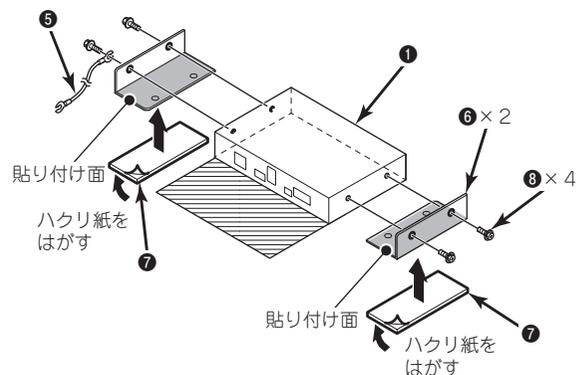
📌 アドバイス

- ・エアバッグの動作に支障のない位置にブザーを取り付け、配線をしてください。
- ・取り付け例は、助手席側のダッシュボード上ですが、取り付けスペースがあれば運転席側のダッシュボード上でも問題ありません。
- ・ブザーを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。きれいに拭き取らないと走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり交通事故やけがの原因となることがあります。
- ・両面テープは、一度剥がすと粘着力が極端に弱くなりますので貼り直しはしないでください。

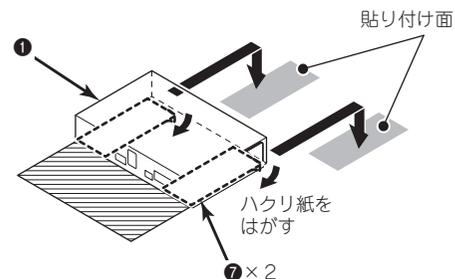
● 本体の取り付けについて



- ① 保護シートをはさみ等で寸法通り切る。
- ② 本体(底面)に保護シートを貼り付ける。
・保護シートは底面ラベルに重ならないように貼り付けてください。



- ③ 本体に取付ブラケットを取り付ける。
・筐体アースコードを共締めしてください。
- ④ 取付ブラケットにブチルテープを貼り付ける。

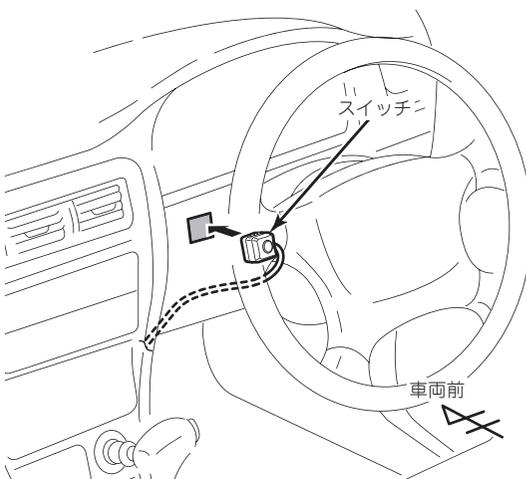


- ⑤ 本体を車両ボデー面に貼り付ける。

📌 アドバイス

- ・本体を貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。きれいに拭き取らないと走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり交通事故やけがの原因となることがあります。
- ・本体のコネクター差込口が車両に対して横方向になるように貼り付けてください。
- ・両面テープは、一度剥がすと粘着力が極端に弱くなりますので貼り直しはしないでください。

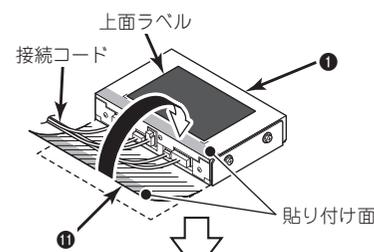
● スイッチの取り付けについて (別売 BSGT17を使用する場合)



- ① スイッチをクラスターパネル右横等、操作性の良い位置に取り付ける。
・運転操作の妨げになるような場所には取り付けしないでください。
・直射日光が当たるような場所には取り付けしないでください。
- ② スイッチコードをテープ等で固定しながら本体取付位置まで配線する。
・コードを配線する際は、運転操作の妨げにならないように配線してください。

📌 アドバイス

- ・スイッチを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。きれいに拭き取らないと走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり交通事故やけがの原因となることがあります。
- ・両面テープは、一度剥がすと粘着力が極端に弱くなりますので貼り直しはしないでください。



- ⑥ 接続コードを本体に接続する。
- ⑦ 本体に貼り付けた保護シートを折り返して、本体上面に貼り付ける。
・保護シートは上面ラベルに重ならないように貼り付けてください。
・保護シートのハクリ紙を全てはがし、コネクター部を挟み込んで覆ってください。
・取付完了後、取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

